

戦略策定にあたって配慮すべき論点

1 人口増加を目指すための施策

〈自然増対策〉

- ・若い世代が、安心して結婚し、子育てができるようになるためには、どのような取組が必要か。その際の県の役割は何か。

例えば、

- ① 継続的な雇用と安定的な収入を確保に向けた企業側と若者のマッチング
(正規職員として就職しても数年で退職し、その後非正規雇用にしか就けない)
- ② 出会い・結婚の支援、ライフコースを考える機会づくり
- ③ 安心して子育てできる環境づくり、子育てにかかるコスト負担軽減策
(子どもを産み育てたいと思う気持ちを阻害しているものは何か)

〈社会増対策〉

- ・地方からの人口流出を食い止めるための対策が必要ではないか。
- ・進学や就職を機に地域を離れる若者が、再び地域に戻ってくるためにはどのような取組が必要か。また、地域に関心を持ってもらい、交流や定住に結びつけていくためには、どのような取組が必要か。

例えば、

- ① 地元で就職・結婚等をした者に対するインセンティブの付与
- ② 地域資源を掘り起こし、地域の魅力を必要な人に情報発信
- ③ 就職活動時にターゲットをしぼった地域の求職情報の発信
- ④ 移住希望者への生活基盤の支援（住居のあっせん、家賃助成など）、雇用のあっせん、起業支援
- ⑤ 短期的なお試し滞在や週末居住を経て移住など、移住に至る段階的な対策
- ⑥ 県内での人口の奪い合いではない移住のあり方

2 地域活力の向上の取組について

- ・兵庫の魅力をどうやって発見・創出し、情報発信するか。
- ・人口減少や世代構成の変化に対応して、地域経済の活力や県民の暮らしの質を維持・向上をしていくためにはどのような取組が必要か。

例えば、

- ① 兵庫の魅力とは何か。

キーワード：安全、ものづくり、多文化共生など

- ② 地域経済をリードするイノベーション産業をどう誘導・創出するか
- ③ 空き家・空き地のさまざまな用途への転用
- ④ 道路や上下水道、買い物の場など、生活を支えるインフラの効率的な維持管理
- ⑤ 人口減少下における行政と地域住民の役割分担のあり方